

## Ⅱ 第二次福山市教育振興基本計画の実施状況

### 1 就学前教育

#### 基本目標 質の高い就学前教育の推進

#### 基本施策1 教育・保育の質の向上

状況	<p>2018年（平成30年）に市内の全ての幼稚園・保育所等に配付した「福山市教育・保育カリキュラム」に基づき、保育実践を行った。新型コロナウイルス感染拡大は、これまでの保育内容や行事のあり方を見直す機会となり、遊びを通した学びについて、各保育施設で検討した。子ども主体の学びや育ちを保障し、保育・教育の専門性を高めるための研修を内容や方法を一部変更して実施した。</p> <p>2012年（平成24年）から2018年（平成30年）まで7年間にわたり、福山市立大学と連携し、市内の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が参加する合同研究を継続して実施してきた。この研究を活かし、各学区で幼保小連携*・接続を進めている。</p>
主な取組	<p>(1) 生活や学びの基盤をつくる教育・保育内容の充実</p> <p>(2) 認定こども園*の整備</p>

#### [評価]

一部達成	<p>当初の目標値5学区以上の25小学校区で幼保小連携協議会を組織し、接続期カリキュラムを基に就学前施設と小学校間で交流・連携を進めている。しかし、授業、行事、研究会などの交流は行っているが、接続を見通した教育課程の編成・実施には至っておらず、目標値には達していない。どの校区でも幼保小連携について取り組むことのできる仕組み作りが必要である。</p>
------	---

#### [基本施策に関する指標（数値目標）]

項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	目標値 2021年度
1	幼保小連携に取り組んでいる学区数	3学区	4学区	9学区	18学区	25学区	35学区

#### (項目説明)

アプローチカリキュラム\*やスタートカリキュラム\*などに基づいて、幼保小連携に取り組んでいる小学校の学区数。それまでの達成状況や見込みを考慮して、2021年度（令和3年度）の目標値を、計画当初の5学区から35学区に変更（2020年度（令和2年度））。

#### [今後のアクション]

全ての子どもたちが、乳幼児期における自発的、創造的な遊びや体験を通した育ちと学びを基礎としながら、安心感を持って小学校生活に移行し、自己を発揮し成長していくために、就学前教育と小学校教育の連携・接続の仕組みを構築し、幼保小連携協議会の設置を進める。また、幼保小連携教育合同研修会の実施、パイロット校の実践などから幼保小連携・接続を推進する。

主な取組	(1) 生活や学びの基盤をつくる教育・保育内容の充実				
取組内容	① 「福山市教育・保育カリキュラム」による連続性のある教育・保育内容 ② 幼稚園・保育所等の就学前施設と小学校の連携				
概要等	課題		今後の方針		
① 「福山市教育・保育カリキュラム」による連続性のある教育・保育内容					
○コロナ禍の中でも安心して生活できる保育環境を整えることを最優先にしつつ、全ての幼稚園・保育所等が、「福山市教育・保育カリキュラム」に基づき、園・所の実態を踏まえ、教育・保育を行った。	○「福山市教育・保育カリキュラム」の意義や内容について、理解や実践を深めていく必要がある。		○引き続き、「福山市教育・保育カリキュラム」に基づいた教育・保育を行うとともに、実践の検証をしていく。		
○子どもの主体的な学びを育むための保育環境の工夫や職員の援助について、保育所等と幼稚園の合同研修や相互訪問等を計画していたが、コロナ禍で実施することができなかった。	○子どもの主体的な学びを育むための保育環境の工夫や職員の援助について、各園・所の職員が学び合い、連続性のある教育・保育内容の充実を図る必要がある。		○研修等で実践の成果を共有することで、幼稚園・保育所等の教育・保育内容の充実を図る。 ○市立幼稚園・保育所の交流等を行い、職員の専門性を高める。		
② 幼稚園・保育所等の就学前施設と小学校の連携					
○幼保小連携教育の合同研修会をオンラインと参集を組み合わせて開催した。	○すべての子どもたちが、安心感を持って小学校生活に円滑に移行し、自己を発揮し成長していくために、就学前施設と小学校が互いに授業を見合ったり、交流・協議したりすることを通して互いの理解を深める必要がある。		○幼児期の教育と小学校教育の学びをつなぐために、どの校区でも幼保小連携について取り組むことのできる仕組みを構築し、内容の充実を図る。		
○コロナ禍のため、就学前施設と小学校の児童の交流活動や教職員同士の研修会を縮小して実施した。					
○公立幼稚園長が小学校の初任者約80名に対し講話を行い、就学前教育についての理解を深めた。					
実績数値					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
公立・法人立保育施設合同研修会回数	6	8	6	0(※)	5
公立幼稚園・保育所等合同研修会回数	18	15	14	10	10
※2020年度(令和2年度)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参集しての研修実施が難しいことから資料配布や情報提供を行った。					

主な取組	(2) 認定こども園の整備				
概要等	課題			今後の方針	
福山市立大学附属こども園と伊勢丘こども園の研究園・実践拠点園としての取組					
○運営がスムーズに行えるよう、定期的に指導・支援を行った。 ○附属こども園は、人数を制限しながら第1回の公開研究会を行い、研究の成果を公開した。	○研究園としての位置付けである附属こども園の成果を基に、実践拠点園である伊勢丘こども園の教育・保育の充実を図る必要がある。			○感染対策に留意しながら保育公開やこども園同士の合同研修や交流を行っていく。	
実績数値					
【こども園の整備状況】					
区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
附属こども園	工事設計 園舎設計・整備 地下構造物解体工事	園舎整備 備品購入等	4月開園	/	
伊勢丘こども園	工事設計 地下構造物撤去工事		園舎設計		



幼保小連携  
(就学前施設の先生が1年生の教室で授業)



市立大学附属こども園 公開研究会